

前期の図書委員さんによるお勧め本の紹介です。たくさん新しい本が入りました。図書室に来て是非読んで下さい。☆マークは図書室にある本という意味です。

☆		「こども六法」 山崎聡一郎 この本は六法全書をわかりやすく、一コマ漫画で描いたものです。僕たちはこれから大人になるので、この本を使って法律を学びましょう。例えば、36ページには第202条の自殺関与及び同意殺人という刑法が紹介されています。面白半分で友達に「死ね」などの言葉を送り、本当に人が死んだら、この法律で罰せられます。7年以下の懲役か、禁固となります。このようなことにならないように、人にかける言葉やメールのやり取りには気をつけましょう。人に優しくしましょう。詳しく知りたい人は読んでみてください。 2-4 K君
☆		「お金の基本ゆる図鑑」 平野敦士カール この本にはお金にまつわるいろいろなことが書いてあります。お金の稼ぎ方やお金のため方、税金の話、クレジットカードにまつわることなどです。これからにつながる本なので、読んで見ましょう。お金のため方、節約の仕方など役に立つと思います。 1-2 M君
☆		「シャーロック・ホームズ 緋色の研究」 コナン・ドイル 文学の知識、哲学の知識皆無。ヴァイオリンを巧みに演奏する。毒物に精通している。そんなシャーロック・ホームズがワトソンと共に数々の事件を解決していく推理小説です。この話はシャーロック・ホームズとワトソンが初めて出会う始まりの物語です。まだ読んだことがない人は、まずこちらの本から読むことをお勧めします。 1-1 U君
☆		「慈雨」 柚月裕子 警察を定年退職した神場は妻とお遍路の旅に出ている。その先で今でも夢に見る過去の事件がある。幼女誘拐事件の犠牲となった少女の夢だ。犯人は容疑を認めなかったことに今も引っ掛かりがある。そして、信頼する部下だった緒方からの電話で、16年前と状況が似た少女殺人事件が起きたことを知る。それから二人は連絡を取り合い、捜査の進捗状況を知らせてもらっていた。疲れと焦りの中、緒方は神場との電話のやり取りに、励まされていた。お遍路を続けながらも、殺人事件のことしか考えられない神場。決めてになる情報もない。「もし、16年前と同一犯ならば、犯人はその間、服役していて、今釈放されたのではないか、同じような白いバンで森へ行ったのに、その目撃情報が他にないということは、トラックなどに車を乗せていたからではないか？」と考えた。それをヒントに、退所者リストから、トラックと繋がる人物を探していく。お遍路が終わろうとするころ、事態は急展開を見せる。神場と妻との関係、そして養女として育ててきた娘への想い、その娘が結婚しようとしている、元部下である青年警察官のこと、16年前の犯人は冤罪ならば、警察への信用失墜、マスコミの報道。自分は離婚して、退職金を犯人と被害者の家族に渡すべきだという信念など、事件だけでなく、神場の複雑な心情が悩ましい。 図書部